

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆめクラブ		公表日 2025年 2月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	・もともと広いスペースではあるが、さらに工夫をし、活動内容や状況に応じて、広く効率的にスペースを活用できるようにしている。	・今年度は放課後デイ施設2か所を1か所に統合したことで1日の利用者多い日がある。今後調整が必要と思われる。 ・横になって休むスペースがない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・基準以上には配置している。 ・子どもの様子や状況などに基づき、基準を超え配置をしており、また不意な欠員などにも柔軟に対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・車椅子にも対応できるよう入口段差に取り外し式スロープを付ける等工夫している ・その曜日により異なる子どもの顔ぶれとその動きにも対応し、一人ひとりの過ごしやすさを意識した場所となっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	・日々、負担をし、できる限り清掃を行っている。異食のあるお子さんにも対応した配慮をしている。	・整理されてきているが、子どもの行動に対応して遊具の配置を工夫するなどさらなる整備が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・個別に過ごせる部屋はないが、カーテン等で仕切ってスペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		・毎日のミーティング等で確認、常勤職員だけでは十分ではない視点に、非常勤職員の視点での意見を振り返りと目標改善に加味している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・年に一回の評価表により把握と共に職員間で共有、保護者にも周知し、業務改善につなげている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・ミーティングや職員会議等で、把握と共に周知し、業務改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4		・経営上の課題から、外部評価を行うことはできていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・法人内研修は職員が参画し、年に10回以上行われている。BCP、虐待防止など、義務となっている内容のもの他、様々な内容で行っているが、特に、兼ねてより、子どもの発達支援の学習会には広く知識を得られるよう力を入れている。 ・全スタッフを対象にした研修は今年度二回行った。 ・法令に則り、適切にプログラムを策定している。	・法人内研修の機会はあるが外部の研修にも参加するなど積極的に研修を受けられるようになるとうい。 ・スタッフ調節でなかなか開催されないが年一回はできているか？ ・日々の業務を優先的にを行い、そのほかの余力をなかなか持つことが出来ない現状にある。今後、体制を整えつつ、内外の研修を充実したい
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		・学校・家庭など各場面における子どもの特性や状況を、日々の保護者との情報共有やアセスメントで行い、画一的でない、本人目線に根差した課題やエンパワメントを加味し計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	・毎日のミーティングなど普段からの情報共有や記録を活かし、共通理解のもと検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・日々の活動の中での目標達成に向けた具体事項や進捗状況等確認・共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	・障害者権利条約の観点から、標準化されたツールを活かすことが単純ではないが、主にインフォーマルなアセスメントを使用し確認するとともに、適応行動の弊害なども日々のミーティング等で確認。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・こと本人支援・家族支援を中心に、必要に応じて移行支援・地域支援等につなげ、支援を具体的に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	・常にチームで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・季節の行事等を取り入れるようにしている。 ・個々によって異なる固定化のメリットデメリットを考慮し、工夫している。	・プログラムは変わらず毎年同じになっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		・集団活動への促しを、本人のモチベーションを活かしつつ適切に行うため、この点にはかなり慎重にかつ重点的に行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・30分ほど時間をとって打ち合わせをしている。 ・その日の状況にもよるが、30分～45分程行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・支援終了後には、障がい特性やその時々コンディションで残ってしまう子がいる為、全体の打ち合わせが難しいが、必要に応じて個々に共有。職員間では毎日共有している。	・支援した職員全員で気付いた点などを話す時間があるとよい。 ・スタッフが帰った後にしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・記録を取り、翌日以降のミーティングの中で必要に応じて支援内容を検証している。	・職員が毎日書いている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・子どもの成長・変化・状況に応じた見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	・この四つの基礎とも言える、自己肯定感の育成と、それを阻害する(してきた)要因の緩和も含め支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		・選択肢を示すなどして自己決定しやすくするよう工夫している。 ・これも選択するためのイメージの力や、その根幹である自分自身の確立から支援を行っている	・よく子どもに何をしたいか聞いて支援をしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・設問のようなことは大前提に、事前の目的把握と職員間の共有、その上での事業所の役割など確認したうえで参画。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	・必要に応じて連携し支援を行っている	・分からない、求められれば連携すると思われる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		・保護者を通じて、など適宜行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	・中高生対象のため就学前の事業所とは情報共有していないが、小学生時の放課後デイとは連携している。 ・主な対象を中高生としている為、機会はないに等しいが必要に応じた連携の準備はある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	1	・求められないので情報提供はしていないが、求めがあればする。 ・現状、体系的な取り組みとしては持っていないが、保護者を通じてなどのニーズには答えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	・相談支援事業所を兼ねた事業所との連携、研修の機会等はいただいている。	・分からない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	・公園等で遊ぶこともある。 ・主な対象を中高生としている為、機会としては少ないが、近隣の図書館やお店・公園などは積極的に利用している。	・機会は少ない
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	・行政主催のネットワーク会議を通じて参加	・分からない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・対面やメールで申し送りをしている。 ・定期的な機会の他、毎日の連絡帳や必要に応じた電話連絡などで行い共通理解を図っている	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	・家族支援を柔軟に行うとともに、職員と共通して所属している組織からの研修の機会を持っている。また、保護者会では座談会の場を設けるなど、情報共有の場を設けている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・初回契約時や、変更の都度、個別面談や保護者会の機会の都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	・設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		・原則的に対面で説明し同意を受けるようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・連絡帳等でこなしている。 ・定期的な面談の他、随時の面談、連絡帳・電話連絡など、緊急性や用途に応じた場を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		・家族が参加する行事等を設けている。 ・クリスマス会など行事を行なっている。 ・行事の開催・保護者会の開催等で支援を行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		・毎月おたよりを発行。 ・毎月の機関紙発行や、必要に応じたお知らせの配布、メール発信などにより発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・個人情報の取り扱いには繊細な注意を払いつつ、子どものわかりやすさや自己実現の為のツール（名前の掲示）などは保護者の許可を得て使用している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	たとえばポイントを絞るキーワード化する、具体物を用いる・時系列順に箇条書きにするなど、個々に応じた分かりやすさについて配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	・地域のフリーマーケットに参加している。 ・今年度、地域のフリーマーケットにて出店した。	・機会は少ない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・マニュアルに関して、家庭には初回契約時や変更の際は保護者会等にて、職員には年に一度のミーティングや職員会議・内部研修会等で、それぞれ周知を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・避難訓練をしている。 ・基本的には学期に一回、様々な場合を想定した避難訓練を行っているが、訓練に苦手意識を持ってしまっている利用児も少なくないため、開催の仕方にはその時のメンバリングへに応じた配慮等、工夫して行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		年に一回の全体ミーティングにて確認。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	保護者を通じて、医師の意見書に基づき対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		初回契約時等にて周知をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	・ヒヤリハット事例をまとめており、新たな事例が出るごとにミーティングで確認している。	・検討したことなどを文書にまとめ職員がいつでも見られて確認できるようにするとよい。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・スタッフミーティングで説明がある。 ・年に一回の定例の機会の他、委員会内容を職員と共有、内部研修会のテーマに取り上げるなどし、対応している。		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	・個々それぞれのケースによる想定のもと、必要に応じ説明し了承を得、個別支援計画に記載している。	
----	--	---	---	---	--